

➤ 19日 水曜

Ⅱ サムエル



5:13 ダビデは、ヘブロンから来た後、エルサレムで、さらに側女たちと妻たちを迎えた。ダビデにはさらに息子たち、娘たちが生まれた。

5:14 エルサレムで彼に生まれた子の名は次のとおり。シャムア、ショバブ、ナタン、ソロモン、

5:15 イブハル、エリシュア、ネフェグ、ヤフィア、

5:16 エリシャマ、エルヤダ、エリフェレテ。

5:17 ペリシテ人は、ダビデが油注がれてイスラエルの王となったことを聞いた。ペリシテ人はみな、ダビデを狙って攻め上って来た。ダビデはそれを聞き、要害に下って行った。

5:18 一方、ペリシテ人はやって来て、レファイムの谷間を侵略した。

5:19 ダビデは【主】に伺った。「ペリシテ人のところに攻め上るべきでしょうか。彼らを私の手に渡してくださいでしょうか。」

【主】はダビデに言われた。「攻め上れ。わたしは必ず、ペリシテ人をあなたの手に渡すから。」

5:20 ダビデはバアル・ペラツィムにやって来た。ダビデはそこで彼らを討って、「【主】は、水が破れ出るように、私の前で私の敵を破られた」と言った。それゆえ、その場所の名はバアル・ペラツィムと呼ばれた。

5:21 彼らはそこに自分たちの偶像を置き去りにした。そこでダビデとその部下はそれらを運び去った。

5:22 ペリシテ人は、またも攻め上り、レファイムの谷間を侵略した。

5:23 ダビデが【主】に伺うと、主は言われた。

「上って行くな。彼らのうしろに回り込み、バルサム樹の茂みの前から彼らに向かえ。」

5:24 バルサム樹の茂みの上で行進の音が聞こえたら、そのとき、あなたは攻め上れ。そのとき【主】はすでに、ペリシテ人の陣営を討つために、あなたより先に出ているからだ。」

5:25 ダビデは【主】が彼に命じられたとおりにし、ゲバからゲゼルに至るまでのペリシテ人を討った。

ダビデはもちろん主のご計画を信じていましたが、今他国の王からも彼に貢ものが届くようになって、王として堅く立てられ「王国を盛んに」されたのを実感したのです。私たちは主の使命のゆえに与えられた立場を実感して、主からそれを受け止めているでしょうか。

ペリシテ人がせめて来ました。主のみわざが始まると必ずサタンは妨げをするものです。それは人を通しての場合が少なくありません。警戒しましょう。

ダビデはそのような時もうらたえることなく、「主に伺って」行動を決めました。その結果勝利が与えられたのですが、それも「主は、水が破れ出るように…敵を破られた」と主の証しとしています。私たちは人に何かを伝えるときにも、どれほど主ご自身の栄光を表しているでしょうか。

ダビデのそのようなライフスタイルが、次の勝利、すなわちバルサム樹の林から向かって勝利するという栄光につながったのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

